



## 第21回修了証書授与式 就農激励会

3月1日に修了証書授与式並びに就農激励会が行われました。無事に挙行され、7名が晴れて修了しました。



修了証書を手にした越後先生と記念撮影



植崎組合長から激励の言葉をいただきました。

### 専攻科を修了して

荒 侑 汰 (上富良野町)

あつという間の2年間でしたが、多くの仲間を支えられ無事修了することができました。現場にいるだけでは見えてこなかったことや専門的な知識を深められました。在学中にできた様々な縁や仲間を大切に今後農業経営に取り組んでいきたいです。

岡和田 真友美 (上富良野町)

農業の知識が全くなく、夫と農業を始めたものの、日々の作業を満足にこなせずに焦るばかりでした。農業特別専攻科で2年間の学び、視察で実際の作物や畑の様子を見て様々な知識を得ることができました。

これからは、まず経営を安定させることが目標です。さらに、山羊や羊を少数飼育して作物の残渣を利用することに取り組みたいです。また、主要作物のミニトマト以外に栽培する作物を模索していきたいと思います。



学生から就農への抱負が述べられました。

北村 偉 央 (富良野市)

この2年間で農業の基礎を学べた他に、各農家さんたちが自分のやりたいように自由なやり方で農業をしているのに感銘を受けました。これからは農家だからと我慢せず、ちゃんと仕事もしてプライベートも充実した経営をしたいと思います。

長澤 壮 大 (富良野市)

私は高校を卒業して、2年間農業特別専攻科で学びました。農業の知識が全くなかったのですが、先生方のおかげでたくさんの知識を学ぶことができました。この2年間で学んだことを生かして、近代的な農業経営をしていきたいと思えます。また、専攻科でできた人脈を大切にしていきたいと思えます。

濱 田 一 成 (美瑛町)

農業特別専攻科に入学し、あつという間に卒業を迎える事になりました。この2年間の学校生活で、様々な知識や経験と共に、沢山の同志に出会えたことが一番の財産です。

私は、父が代表を務める、農事組合法人に入社して3年が経ちました。まだまだ、農業者としても経営者としても未熟ですが、この3年間で改めて、強い覚悟と、決心を持つことが出来たと思っています。これから、沢山の困難が待ち構えています。

ていると思いますが、「地域・従業員・家族」をしつかり守り抜ける、農業者・経営者になれるように一生懸命頑張ります。

最後に、この2年間、私を様々な面で指導、サポートして頂きました。専攻科教員の皆様に、心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

細川 卓 也 (南富良野町)

専攻科で学んだことを生かせるように、これからも農業に取り組んでいきたいと思えます。将来的には地域農業の発展に貢献できるような農家を目指したいと思えます。

夢はでっかく根は深く！

舛田 圭 吾 (東神楽町)

我が家は北海道基準ではそこまで大きくなく、どちらかと言えば小規模農家と言えます。学校に入るまではやはり大規模じゃなきゃやっていけないのかなとも思っていました。色んな所に研修に行つて話を聞いて、小規模でもやり方次第では大丈夫だと分かりました。なので、自分が目指すのは小規模でもやっていける農業経営です。その為には、農業の知識や経営等まだまだ学ぶことは多いです。卒業した後も自分なりに考えて少しずつ目標の経営形態に近づけるように努力して行きます。